

企業はどのように  
ワークスペースを  
再構築しているのか



# ワークスペース を再構築 することで 人間らしく働く ことが可能に



「今やあらゆる場面で、ハイブリッドワークをサポートする方法を考える必要があります…この機会を利用して、つながりを常に維持していくことができるようにすることが目標です」

ZOOM、CEO、ERIC YUAN氏<sup>1</sup>

従業員を一か所に集めるのは至難の業です。従業員の多くがリモートで働いている状況で、今日の企業は、従業員の共同体意識を育み連帯感を高めることに苦勞しています。空席のデスクが目立つオフィス、閑散とした廊下、人気のない休憩室、そのような仕事場に誰が行きたいと思うのでしょうか。

従業員が出勤したいと思うような、生産的に働けるサステナブルな環境を作ることは、いまや雇用者側の責務なのです。パンデミック発生以降に生まれた新たな行動パターンに対応するためには、これまでのやり方を変えていくことが求められています。

それでは、企業は現在、どのようにワークスペースを再構築しているのでしょうか。

そこでは、**人と人とのつながりを最優先とし、人を中心としたスペースの設計**を行っています。

# 導入 事例

ロジケールのエコシステム内にいる多くのパートナーやお客様は、当社製品の利用を通じて、よりコラボレーションに適したワークスペースを実現しています。テクノロジーをいかに活用してワークスペースを再構築しているのか、ご紹介しましょう。

# WERQWISE

従来のビデオコラボレーション用のプラットフォームは、複雑で、会議を開始する必要があるたびにWerqwise社のITチームに連絡する必要があったため、お客様が導入する割合は最小限にとどまっていました。シンプルさと使いやすさを重視するワークスペースの革新を行う企業として、この欠点はWerqwise社のブランドイメージを損ない、テクノロジーへの投資価値を低下させるものでした。

Werqwise社のIT部門は代替案を検討した結果、ロジクール会議室ソリューション（Zoom Rooms版）を、最も信頼性が高く、直感的に扱えて、手頃な価格で大規模導入が可能なソリューションとして選択しました。Zoom Roomsのユーザーインターフェイスで利用できるロジクールRally BarまたはRally Bar Mini、ロジクールScheduler、ロジクールTapにより、お客様は、ボタンをワンタッチするだけで、簡単に会議スペースを予約し、高品質なビデオ会議を始めることができます。AI搭載のロジクールScribeホワイトボードカメラを活用することで、リモートからの参加者とホワイトボードのコンテンツを共有し、Werqwiseのスペースをハイブリッドワーク環境の延長としてご利用いただけます。

ロジクール会議室ソリューション（Zoom Rooms用）の導入により、IT部門を介在させることのない円滑なビデオ会議が可能になりました。会議スペースでのビデオ導入率が78%増加し、ロジクールのビデオ会議機器の導入による信頼性の向上により、Werqwise社のITチームは、より優先度の高いプロジェクトに集中できるようになりました。

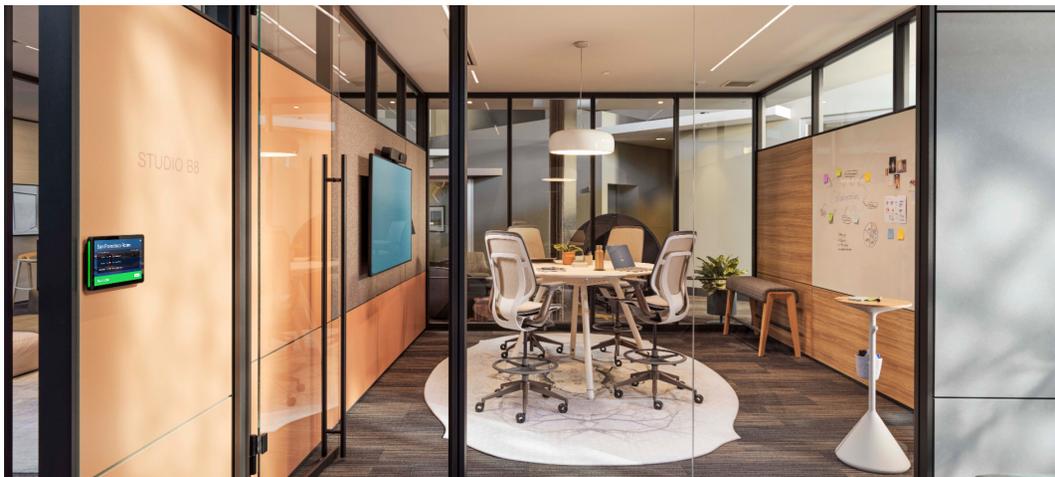
活用されたロジクール製品：Rally Bar、Rally Bar Mini、Tap IP、Scribe、Swytch

[導入事例の全文を読む](#)



「信頼性が高く、直感的に扱え、使いやすいユーザー体験を提供するロジクールのソリューションにより、真のコラボレーションが実現します」

WERQWISE社、CEO、ALAN MACKAY氏



# STEELCASE

Steelcase社は、ハイブリッドワークに対応したワークスペースに関する新たなビジョンを掲げ、世界中にある自社のWorkLife Center（ワークライフセンター）において、ロジカルと協同で新しいハイブリッドオフィスの実験を行っています。

その環境は、ワークスペースが**公平性、積極的関与、使いやすさ**、という3つの設計目標をいかに達成しているかを実証しています。



「企業は、以前と同じワークスペース環境のままでは、従業員をオフィス勤務へと復帰させることはできません。ハイブリッドワークは従来の働き方とは違います」

GALE MOUTREY氏、  
STEELCASE<sup>2</sup>社、イノベーション担当VP



「各ワークスペースは、従業員のパフォーマンスを高めるだけでなく安らげる場所として機能するように設計されています。その実現方法はユニークです。ビデオ通話や直接対面の会議で、従業員が人間関係を育める個性的な空間を構築することは、新時代のハイブリッドワークに欠かせない要素でした」

CHERIE JOHNSON氏、STEELCASE<sup>3</sup>社、グローバル デザインディレクター

Steelcase社は、設計プロセスの早い段階からテクノロジーと物理的スペースを融合し、シンプルで直感的に使用できるダイナミックなワークスペースをすることで、将来の新たな働き方を形作ることを目指しています。

[より質の高いハイブリッドワークを実現できるように設計された新しいスペースを見る](#)

# RADISSON

Radisson Hotel Groupは、顧客向けのハイブリッド会議サービスを開発するにあたり、ヨーロッパ圏全域で共通して導入できるビデオテクノロジーソリューションを求めています。

Radisson Hotel Groupは、ヨーロッパ圏全域のビデオコラボレーションソリューションに、ロジクールMeetUpとRallyを採用し、標準化しました。いずれも直感的に使いやすいプラグ&プレイ対応のソリューションで、Radisson社の顧客は、指定の会議スペースに入り、持ち込んだノートPCを接続するだけで、簡単にハイブリッド会議を開始できます。

同ホテルチェーンの顧客は、このハイブリッド会議サービスを歓迎しています。Radissonの施設では同様の会議スペースを増設するにつれて、その予約依頼も増え続けています。

活用されたロジクール製品：MeetUp、Rally

[導入事例の全文を読む](#)



「会議とイベントを増やしていくことは私たちの優先事項です。また、これを実現するにはイノベーションとテクノロジーが不可欠であると考えています。私たちは、パートナーとしてロジクールを選びました。これは、私たちがハイブリッド会議の高い可能性について同じ考え方を持っているためです。」

RADISSON HOTEL GROUP、EMEAオペレーションの企業ディレクター、PATRICK APOSTOLO氏



# バイエルンのアメリカンフットボール協会

2020年、バイエルンのアメリカンフットボール協会（AFVBy）は、すべての直接対面の会議とイベントを急遽中止せざるを得なくなりました。しかしながら、情報交換のほか、コーチやクラブ関係者のさらなるトレーニングを、可能な限りシームレスに継続する必要がありました。

IT管理者であるJürgen Siebmans氏、副会長であるFlorian Langer氏、CFOであるHeike Haslbeck氏は、さまざまなハードウェア/ソフトウェア提供会社の製品を検討しました。そして選定されたのが、4K Ultra HDウェブカメラであるロジクール Brio、ロジクールZone Wireless、Zoomを組み合わせたソリューションです。Zoomの採用は、25fpsのビデオを安定して伝送できる唯一のビデオ会議ソフトウェアだったことが決め手となりました。一方ロジクールは、優れたオーディオおよびビデオ機能、あらゆる照明環境下で高画質を維持するBrioの性能、連携するLogi Tuneソフトウェアにより優位に立ちました。

2021年4月だけでも532件のオンライン会議が実施され、延べ1,300人近くが参加しました。Zoomおよびロジクールの実績あるテクノロジーの相乗効果がなければ、AFVByの運営を継続することは不可能だったでしょう。

活用されたロジクール製品：Zone Wireless、Brio

[導入事例の全文を読む](#)

「Zoomビデオ会議ソフトウェアに、ロジクールが提供する最高品質のビデオコラボレーションハードウェアを組み合わせたことで、将来に向けて万全の態勢を整えることができました。オンラインでつながりを維持できるようになったことで、会議に関する課題を自分たちで解決する必要がなくなり、当協会の運営をより円滑に行うことができました」

バイエルンのアメリカンフットボール協会（AFVBY）、副会長、FLORIAN LANGER氏

# ポイント

ワークスペースの再構築は、人と人とのつながりを最優先すること、そしてコラボレーションの効果を高めるテクノロジーを利用することから始まります。そのためには、以下のことを行います。

- オフィスを共同体意識や人とのつながりを育む場所として捉える
- オフィス内の会議室とスペースを、集中力を必要とする個人作業から臨時の会議まで、幅広く対応できるように設計する
- 従業員がどこからでも作業に参加できるように、ワークスペースにコラボレーションツールを導入する

以上の方法でワークスペースを再構築すれば、従業員全員が、どこでも、テクノロジーを活用してより大きな組織とつながれるようになります。

# 新しいスペースの ご紹介

あらゆるスペースでビデオコラボレーションが可能になります。

新しい働き方のパラダイムを支える、オフィススペースの再構築に関する当社のビジョンをご紹介します。

## 隣接部署共有 スペース



隣接部署共有スペースは活気に満ち溢れた場所です。

グループのコラボレーションやコミュニティを活性化し、働くことを、はるかに充実した、より楽しいものにします。

推奨ソリューション：

- Rally Bar Mini
- Tap IP



コラボレーション、交流、オンライン会議のためのカジュアルなスペースです。

絆を深めたり新たな人間関係を構築したりと、職場への出勤を有意義なものにする場所です。

推奨ソリューション：

- MeetUp
- RoomMate  Zoom Rooms
- Tap IP

## ソーシャル スペース



ハドルスペースは、自然発生的なコラボレーションを行える、少人数チーム向けの個室です。

気軽に使える柔軟性の高いスペースで、ビデオ会議に適しています。

#### 推奨ソリューション：

- MeetUp
- RoomMate  Zoom Rooms
- Tap IP
- Tap Scheduler
- Swytch

## ハドル スペース



## ブレインストーミング スペース



アイデアを生み出し、自由な創造的思考を促すインタラクティブなオープンスペースです。

ビデオ会議機器を導入すれば、より多くの人々が会議に参加でき、さらに多くのアイデアを集めることができます。

#### 推奨ソリューション：

- Rally Barまたは Rally Bar Mini  Zoom Rooms
- Scribe
- Tap IP
- Sight

# フォーカス スペース



ビデオ通話にすぐに参加したり、集中して作業したり、リラックスしたりできるプライベートなスペースです。

じっくりと考えることが必要なときもあります。そのようなときには、誰にも邪魔されない空間があると便利です。

## 推奨ソリューション：

- Logi Dock Focus Room Kit
- Zoom Meetings
- Swytch

リモートオフィスでの生産性を高め、充実したワークスペースにするためのツールを従業員に用意しましょう。

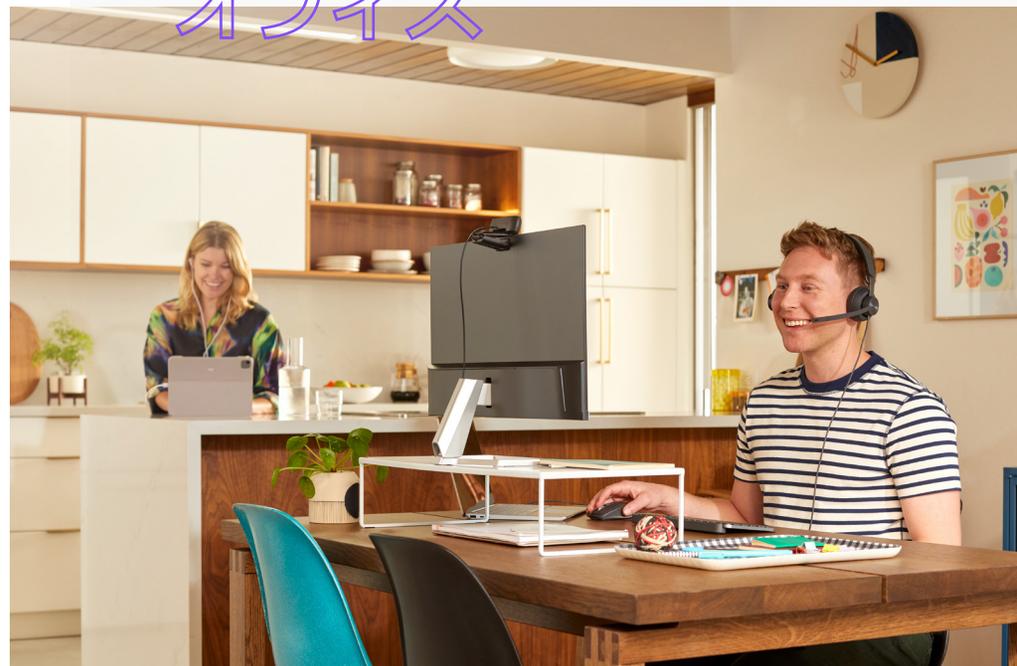
在宅勤務を有意義なものにできます。

## 推奨ソリューション：

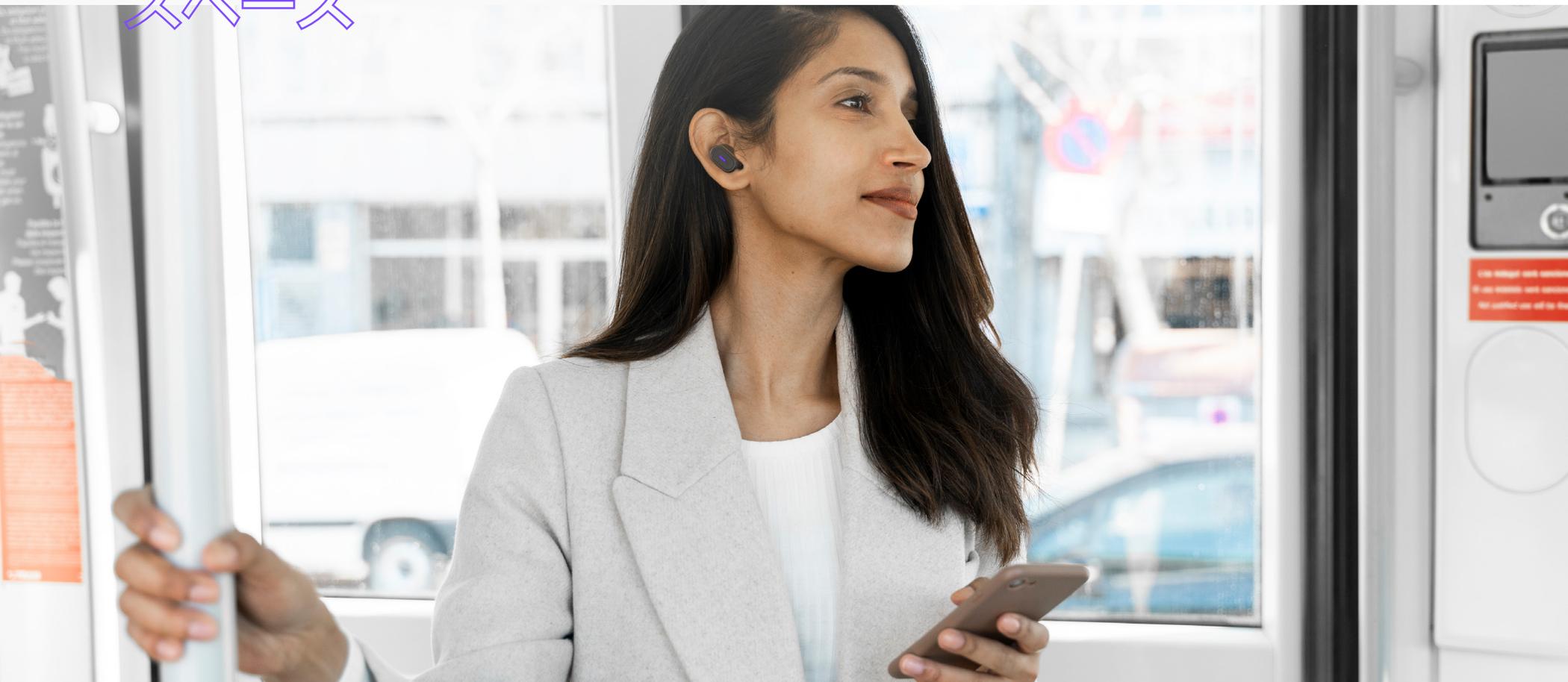
- Brio 505ウェブカメラ
- ZoneヘッドセットまたはEarbuds
- MXシリーズ キーボード/マウス
- Logi Dock



# ホーム オフィス



# 外出先の スペース



柔軟なポータブル デバイスで、どこからでも会議に参加し、コラボレーションを行うことができます。

屋外にも対応します。

## 推奨ソリューション：

- ZoneヘッドセットまたはEarbuds  Zoom Phone

新しいスペースを  
最大限に活用





## あらゆるスペースで さまざまなワークスタイル に対応

スペースの広さは必ずしも重要ではありません。適切な会議室設計とテクノロジーの導入により、限られた小規模なオフィススペースを洗練された作業スペースに変えることができます。自宅のパーソナルワークスペースについても同様です。



## デバイスを会議室のデザインに融合

テクノロジーと家具を一つのまとまりとしてとらえましょう。カメラ、マイク、マイクポッド、デジタルサイネージを現実のスペースのデザインに溶け込ませるようにすることで、コラボレーション対応のワークスペースで、円滑なコミュニケーションを実現できます。



## 在宅勤務を有意義なものにする

ハイブリッド勤務中の従業員がどこであれ「自分のワークスペース」から会議に参加する際に、会議に影響力を発揮できるような適切なツールを提供しましょう。具体的には、ホームオフィスに、ウェブカメラ、ヘッドセット、ドッキングステーションなどのリモートワークをスムーズに進めるためのデバイスを設置します。

ロジクールは、ITハードウェア担当の意思決定者を対象として調査を実施しました。調査によれば、オーディオやビデオのパフォーマンスを最適化する外付けのウェブカメラ、ヘッドセットなどのアクセサリを自社で従業員に支給していると回答した人は40%未満でした。多くの従業員が、すでに1年以上にわたってリモートから会議に参加しているにもかかわらずです。



## ビデオコラボレーションをどこからでも可能に

オフィスのあらゆるスペースに会議用カメラ、マイク、インタラクティブスクリーン、ホワイトボードカメラを導入しましょう。会議を簡単に始めることができ、臨時のブレインストーミング、ホットデスクング、交流会にリモートからの参加者を受け入れることができます。



## デバイスとソフトウェアのモニタリングも簡単

IT関連のスペースにあるソフトウェアデバイスを簡単に管理できる技術基盤を構築するときは、ロジクール Syncなどを使用します。

logicool®

# すべての人々 すべてのスペース

logicool®

[www.logicool.co.jp/business](https://www.logicool.co.jp/business)

購入前のお問い合わせ：  
株式会社ロジクール  
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：  
株式会社ロジクール  
カスタマーリレーションセンター  
<https://prosupport.logi.com/>

発行：2023年4月

<sup>1</sup> 2022年9月21日、ZoomのCEOであるEric Yuan氏のForbes誌上での談話：

<https://www.forbes.com/sites/alexkonrad/2021/09/13/zoom-ceo-eric-yuan-new-hybrid-office-tools/>

<sup>2</sup> 「トロントで開催のWorkBetterLabでSteelcaseとPOIが従業員が働きたくなるオフィスを紹介」、POI.ca（2022年3月14日）

<sup>3</sup> 「リーダーシップをデザインする」、Steelcase.com

© 2023 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。